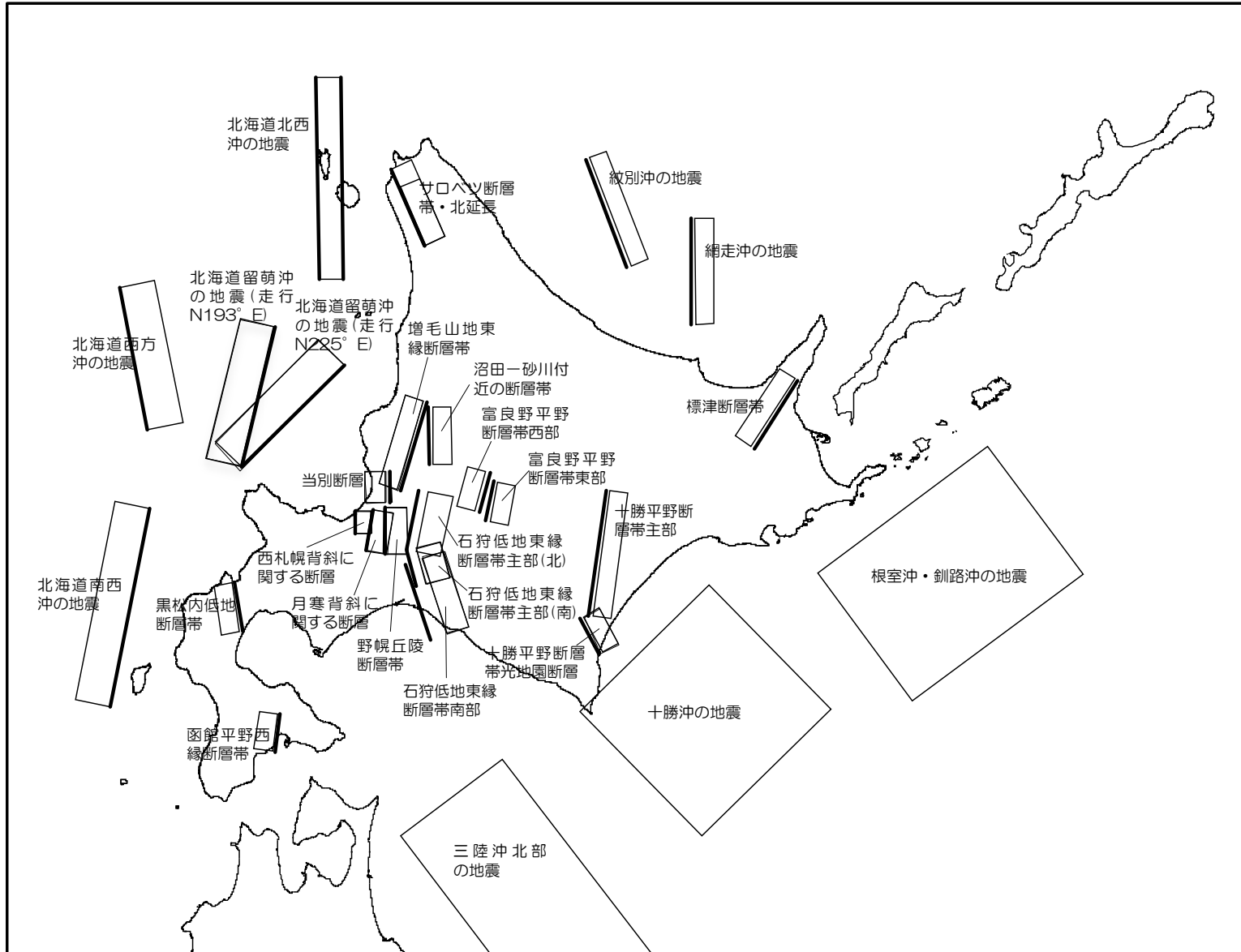


H30.2.26 帯広市防災会議

# 帯広市の地震被害想定

十勝総合振興局

# 全道の想定地震



# 帯広市の想定地震

対象地震		対象地震	
地震名	断層モデル	地震名	断層モデル
標津断層帯	30_1、45_5	十勝平野断層帯主部	45_2、45_5、30_3
富良野断層帯西部	45_3、30_2、30_5	増毛山地東縁断層帯	30_2、45_1、45_2、45_3、45_4 45_5
沼田－砂川付近の断層帯	45_1、45_2、45_3、45_4、 30_3、30_4	当別断層帯	30_2、30_5
石狩低地東縁断層帯主部 (北)	45_1、30_1、30_5	石狩低地東縁断層帯主部 (北)(深さ3km)	45_2、45_3、45_5、30_2
石狩低地東縁断層帯主部 (南)(深さ3km)	45_2、45_5	石狩低地東縁断層帯南部	30_5
石狩低地東縁断層帯南部 (深さ3km)	30_2、30_3、30_5	黒松内低地断層帯	45_3、45_4、30_5
函館平野西縁断層帯	45_2、45_3	サロベツ断層帯(断層延長)	30_2、30_3、30_5
西札幌背斜に関連する断層	－	月寒背斜に関連する断層	－
野幌丘陵断層帯	45_1	根室沖・釧路沖	－
十勝沖の地震	－	三陸沖北部	－
北海道北西沖	No.2、No.5	北海道南西沖	No.2
北海道留萌沖(走向N193E)	No.1	北海道留萌沖 (走向N225E)	No.2

# 地震被害想定の設定条件

## ➤ 冬期の早朝5時

- … 積雪の影響あり、住宅内に最も人がいる
- 人的被害が最大となる

## ➤ 夏期の昼12時

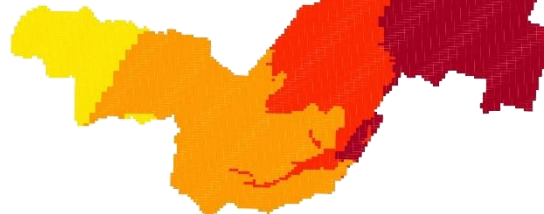
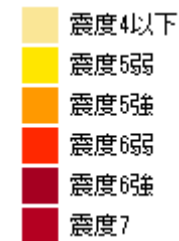
- … 積雪の影響なし、住宅内に最も人が少ない
- 建物・人的被害が最小となる

## ➤ 冬期の夕方18時

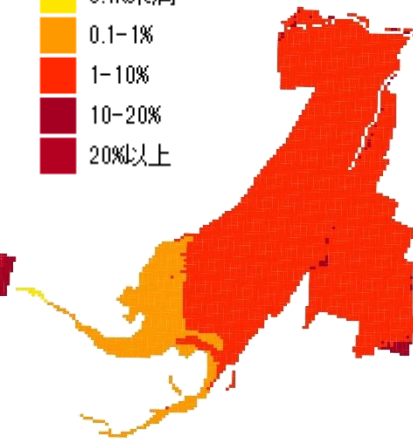
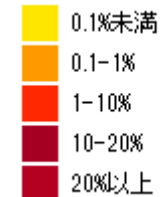
- … 積雪の影響あり、火気の使用が多い
- 建物被害が最大となる

# 帯広市の地震被害想定 (十勝平野断層帯主部45\_2)

地震被害想定項目		帯広市
地震動		震度7 (最大)
液状化危険度		右図のとおり
急傾斜地崩壊危険度		右図のとおり
建物被害	全壊棟数	541棟
	半壊棟数	2,626棟
火災被害	焼失棟数	12棟
人的被害	死者数	10人
	重軽傷者数	55人
	避難者数	29,786人
ライフライン被害	水道被害箇所数	724箇所
	断水人口 (1日後)	78,434人
	下水道被害延長	45.1km
	機能支障人口	6,039人
交通施設被害	主要道路被害箇所数	15箇所
	15m以上の橋梁の不通・通行支障箇所	10箇所



【震度分布】



【液状化危険度】

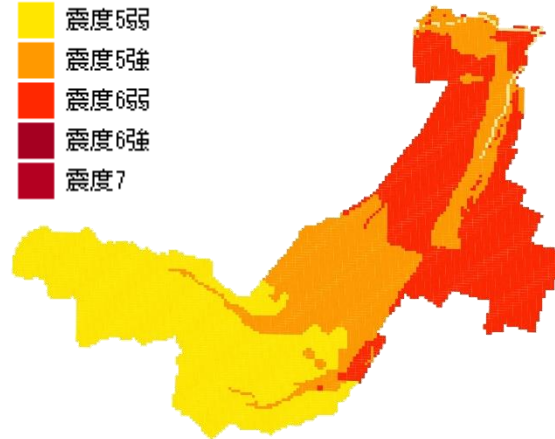
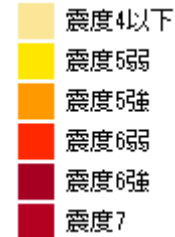
【急傾斜地崩壊危険度】  
危険度ランクA 5箇所



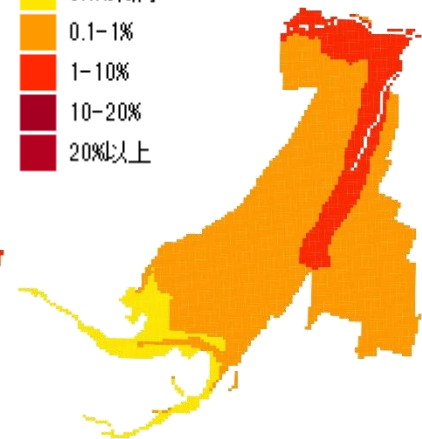
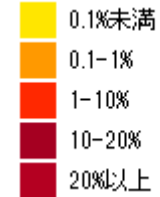
※ 冬期の早朝5時

# 帯広市の地震被害想定 (十勝沖の地震)

地震被害想定項目		帯広市
地震動		震度6強 (最大)
液状化危険度		右図のとおり
急傾斜地崩壊危険度		右図のとおり
建物被害	全壊棟数	18棟
	半壊棟数	291棟
火災被害	焼失棟数	1棟未満
人的被害	死者数	1人未満
	重軽傷者数	5人
	避難者数	7,886人
ライフライン被害	上水道被害箇所数	139箇所
	断水人口 (1日後)	25,869人
	下水道被害延長	23.2km
	機能支障人口	3,217人
交通施設被害	主要道路被害箇所数	12箇所
	15m以上の橋梁の不通・通行支障箇所	2箇所

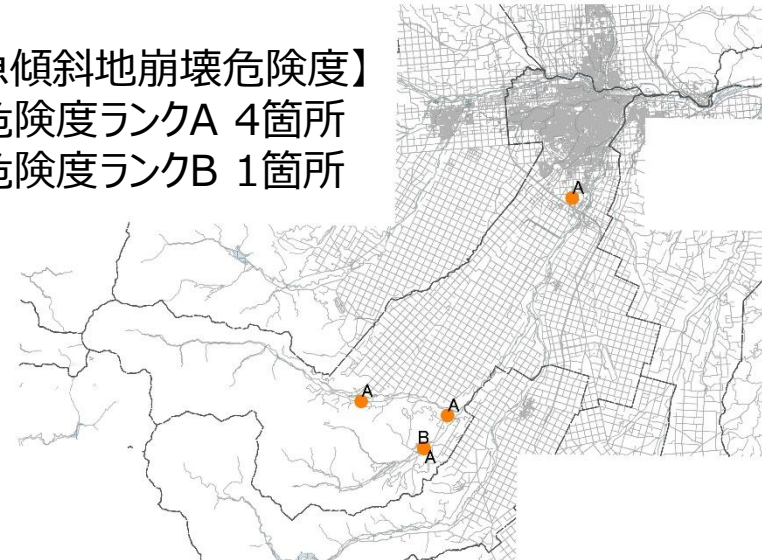


【震度分布】



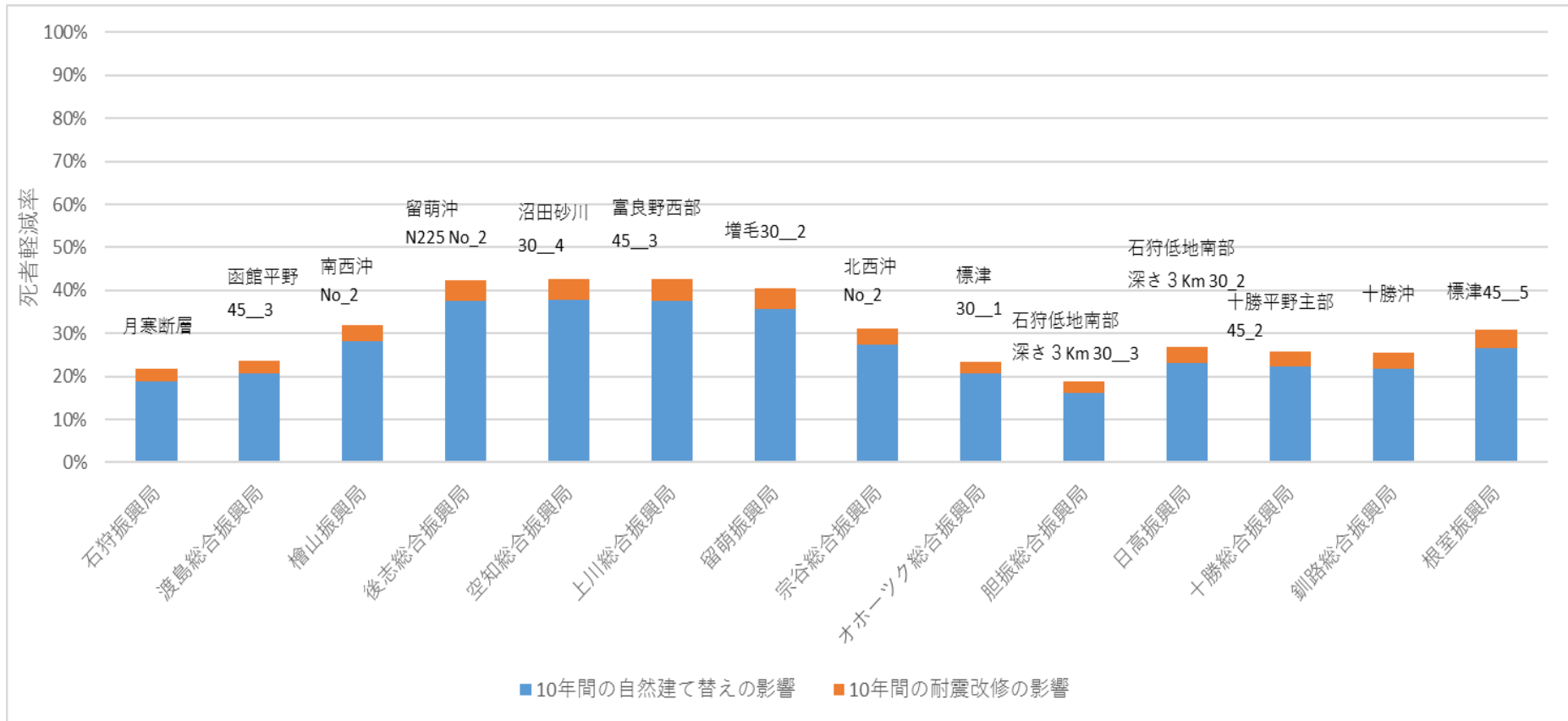
【液状化危険度】

【急傾斜地崩壊危険度】  
危険度ランクA 4箇所  
危険度ランクB 1箇所



※ 冬期の早朝5時

# 住宅の耐震化による死者の低減効果



住宅の耐震化による死者の低減効果

# (参考) 全道の地震被害想定調査結果

全道の地震被害想定調査の結果については、道庁危機対策課HPに掲載

○ 北海道の想定地震・地震被害想定について

[http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/jishin\\_sotei.htm](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/jishin_sotei.htm)